

事務事業及び予算の執行実績
(令和 7 年度分)

静岡県食肉衛生検査所

目 次 （食肉衛生検査所）

事務事業の概要（□□□□）	1
1 概 況	1
事業の根拠法令調（□□□□）	2
2 課（室）別の事務又は事業の目的、計画及び実績（成果） 並びに評価（課題等）及び改善	5
職員の年齢調（□□□□）	17
健康管理（□□□□）	18
職員配置調（□□□□）	19
歳入予算執行状況調（□□□□）	20
県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調（□□□□）	21
預金調（□□□□）	21
郵券等受払調（□□□□）	22
歳出予算執行状況調（□□□□）	23
委託料等歳出予算執行状況節別集計表（□□□□）	29
委託料等歳出予算執行状況節別集計表（□□□□）	30
委託料に関する調（□□□□）	31
負担金支出調（□□□□）	35
公有財産調（□□□□）	36
借地借家等調（□□□□）	37
事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調（□□□□）	37
備品・図書調（□□□□）	38
主要備品調（□□□□）	40

□□□□

事務事業の概要

1 概況

(1) 沿革

明治 39 年	「屠場法」が制定される。(県警察部主管)
昭和 17 年	県内政部へ移管される。
昭和 21 年	県衛生部へ移管される。
昭和 28 年	「屠場法」が全部改正され「と畜場法」となる。
昭和 43 年 4 月 1 日	静岡県行政組織規則の一部改正により、西部食肉衛生検査所が浜松市上西町 986 番地(浜松市立と畜場内)に設置される。
昭和 46 年 2 月 9 日	浜松市丸塚町字舞台 88 番地に事務所を移転する。
昭和 49 年 4 月 1 日	浜松市の政令市指定に伴い、掛川市大池 1875 番地の 3 に事務所を移転する。
昭和 52 年 3 月 18 日	掛川保健所との合同庁舎新設に伴い、掛川市金城 93 番地に事務所を移転、現在に至る。
昭和 52 年 4 月 1 日	静岡県行政組織規則の一部改正により、課制(管理指導課、検査課)が施行される。
平成 3 年 4 月 1 日	食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律が施行される。
平成 6 年 3 月 30 日	庁舎の増改築を行い、精密検査の機能を強化する。
平成 12 年 4 月 1 日	静岡県食肉衛生検査所設置条例が施行される。
平成 13 年 10 月 18 日	牛全頭を対象に牛海綿状脳症(BSE)のスクリーニング検査を開始する。
平成 25 年 7 月 1 日	牛海綿状脳症(BSE)のスクリーニング検査対象牛が 48 月齢超に変更される。
平成 26 年 4 月 1 日	岳南食肉センターの廃止(平成 26 年 3 月)に伴い、東部食肉衛生検査所を廃止し、西部食肉衛生検査所に統合する。併せて、食肉衛生検査所に改称する。
平成 29 年 4 月 1 日	健康牛に係る BSE のスクリーニング検査が廃止される(ただし、24 ヶ月齢以上の牛のうち、神経症状が疑われるもの又は全身症状を呈するものについては引き続き検査実施)。
令和 2 年 10 月 27 日	農林水産物及び食品の輸出の促進に関する法律(令和 2 年 4 月施行)に基づく事務の一部が委任される。
令和 3 年 6 月 1 日	と畜場及び食鳥処理場において HACCP に沿った衛生管理の実施が義務付けられる(完全施行)。
令和 6 年 4 月 1 日	月齢に関わらず、BSE を疑う症状を呈する牛がスクリーニング検査対象となる。
令和 8 年 4 月 1 日	静岡県食肉センター豚処理稼働開始

(2) 所管区域

静岡県一円(静岡市、浜松市を除く)

(3) 事業の概要

と畜検査、食鳥検査、精密検査及び衛生指導について、それぞれの根拠法令に基づき安全・安心な食肉の供給を目的とした事業を推進している。

また、その他に、調査研究事業や食肉検査情報提供事業、消費者を対象とした食肉衛生知識の普及啓発事業等を行っている。

ア と畜検査事業

と畜場において、牛や豚に病気等の異常がなく食用に適するか否かを一頭毎、生体から解体工程に応じた各段階で、と畜検査員（獣医師）による肉眼的検査等を実施し、異常が認められた場合は廃棄等の必要な措置を講じている。

イ 食鳥検査事業

大規模食鳥処理場において、鶏に病気等の異常がなく食用に適するか否かを一羽毎、生体から解体工程に応じた各段階で食鳥検査員（獣医師）による肉眼的検査等を実施し、異常が認められた場合は廃棄等の必要な措置を講じている。

ウ 精密検査事業

(ア) と畜検査及び食鳥検査において、疾病の確定診断が困難な場合は、微生物学、病理組織学又は理化学の精密検査を併せて実施し、適正な行政判定を行っている。

(イ) 牛海綿状脳症（BSE）、高病原性鳥インフルエンザの対策として、スクリーニング検査を実施し、罹患畜の排除や防疫対応を行っている。

(ウ) 抗菌性物質等の有害物質が残留する食肉の流通を防止するため、収去検査等を実施し、違反食肉の排除を行っている。

エ 衛生指導事業

(ア) と畜場及び大規模食鳥処理場において適正に HACCP に基づく衛生管理が実施されていることを定期的に検証し、必要に応じて改善指導を行うとともに、それぞれの事業者に対し、衛生教育や制度化された HACCP に関する技術的支援を行っている。

(イ) 定期的に認定小規模食鳥処理場の立入検査を実施し、事業者に対し施設設備の衛生管理や適正な食鳥処理について指導を行っている。

(ウ) 衛生的な食肉の流通に資するため、枝肉輸送車の定期点検を実施し、事業者に対し指導等を行っている。

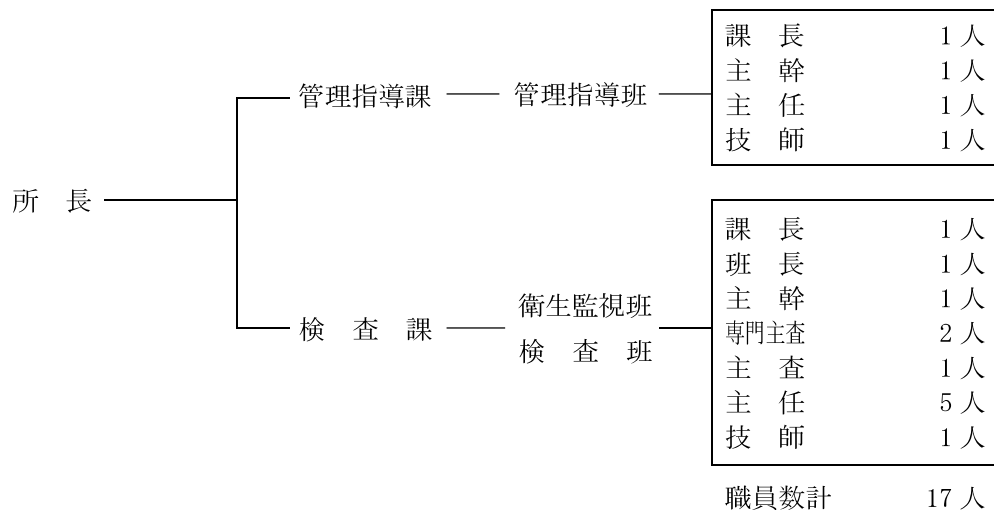
□□□□

事業の根拠法令調

事業名	根拠法令
と畜検査事業 精密検査事業 衛生指導事業	と畜場法 同法施行令 同法施行規則 同法施行細則 牛海綿状脳症対策特別措置法 厚生労働省関係牛海綿状脳症対策特別措置法施行規則 農林水産物及び食品の輸出の促進に関する法律
食鳥検査事業 精密検査事業 衛生指導事業	食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律 同法施行令 同法施行規則 同法施行細則 農林水産物及び食品の輸出の促進に関する法律

精密検査事業 衛生指導事業	食 品 衛 生 法
------------------	-----------

(4) 組 織 図



(その他会計年度任用職員等)

職 名	人数
会計年度任用職員	6 人

(5) 各課(班)の所掌事務

管理指導課 (管理指導班)

- ・ 人事、財産管理に関すること。
- ・ 給与、会計及び職員の健康管理に関すること。
- ・ 業務の広報及び消費者啓発に関すること。
- ・ と畜場及び食鳥処理場の許認可等に関すること。
- ・ と畜場及び食鳥処理場の整備及び運営指導に関すること。
- ・ 関係機関との連絡調整に関すること。
- ・ 他課の所掌に属さない事務に関すること。

検査課

- ・ と畜及び食鳥検査に基づく措置に関すること。
- ・ と畜、食鳥及び食肉の精密検査に関すること。
- ・ 調査研究に関すること。
- ・ 食肉衛生検査業務の企画調整に関すること。

衛生監視班

- ・ と畜場、食鳥処理場及び枝肉輸送車等の衛生監視、指導に関すること。
- ・ と畜場及び食鳥処理場への立入検査に関すること。

検査班

- ・ 食肉衛生検査技術の研修に関すること。
- ・ と畜検査及び食鳥検査結果の統計処理に関すること。
- ・ 食肉検査情報の提供に関すること。

(6) 所 管 施 設 の 状 況

ア と畜場

(令和 7 年度)

名 称	事業者名	所在地	事務所からの距離	開場日	一日平均処理頭数 (令和 7 年度)	摘要
小笠食肉 センター	静岡県経済 農業協同組 合連合会	菊川市赤土	km 14.6	週 5 日 (230)	頭 牛 20.3 豚 530.3	と畜場 番 号 10
静岡県食肉 センター	静岡県経済 農業協同組 合連合会	菊川市赤土	km 14.6	週 5 日 (2)	頭 豚 27	と畜場 番 号 1

(注) と畜場番号とは、と畜場法施行規則第 17 条により県知事が定めた番号。

(注) 静岡県食肉センターで処理した豚は、試験と畜分

イ 食鳥処理施設 (年間 30 万羽以上)

(令和 7 年度)

処理場の名称	事業者名	所在地	事務所からの距離	開場日	一日平均処理羽数 (令和 7 年度)	摘要
米久おいしい鶏(株) 静岡事業所	米久おいしい鶏(株)	磐田市 笠 梅	km 18.0	週 5 日 (258)	羽 17,411	
静岡県成鶏加工 協同組合	静岡県成鶏加工 協同組合	磐田市 向笠竹之内	km 20.0	週 5 日 (241)	羽 10,641	

ウ 認定小規模食鳥処理施設 (年間 30 万羽未満)

(令和 7 年度)

処理場の名称	事業者名	所在地	事務所からの距離	開場日	一日平均処理羽数 (令和 7 年度)	摘要
(有)三宝長田	(有)三宝長田	御殿場市 萩 原	km 125.8	週 5 日 (228)	羽 362.1	
東富士農産(株)	東富士農産 (株)	御殿場市 川島田	km 126.5	週 2 日 (104)	羽 473.6	
(有)鳥栄	(有)鳥栄	御殿場市 新 橋	km 124.6	年末 (2)	羽 17.0	
チキンハウス ホリエ	堀江 利彰	伊豆市 矢 熊	km 139.1	週 6 日 (306)	羽 45.8	
(株)チキンハウス 青木養鶏場 山宮加工場	(株)チキンハウス 青木養鶏場	富士宮市 山 宮	km 97.3	週 5 日 (260)	羽 253.5	
だいたい作業所 池新田食肉加工所	社会福祉法人 草苗の会	御前崎市 池新田	km 18.0	週 5 日 (228)	羽 26.9	

(7) 食鳥検査に従事する職員の勤務形態

(H25. 7. 31 訓令乙第 11 号)

区 分	勤 務 時 間	休 憩 時 間	勤務地の名称
A 勤 務	6:45 ～ 15:30	11:00 ～ 12:00	米久おいしい鶏(株) 静岡事業所
B 勤 務	7:15 ～ 16:00	12:00 ～ 13:00	静岡県成鶏加工協同組合
C 勤 務	8:30 ～ 17:15	11:30 ～ 12:30	米久おいしい鶏(株) 静岡事業所
D 勤 務	8:30 ～ 17:15	12:00 ～ 13:00	静岡県成鶏加工協同組合

2 課(室)別の事務又は事業の目的、計画及び実績(成果)並びに評価(課題等)及び改善

(1) 管理指導課

ア 業務管理

(ア) 目的、計画及び実績(成果)

職員が目的意識を持ち、事業の計画的かつ効率的な遂行ができるよう、所内の連携・協力の体制強化に取り組んだ。

また、職員が快適かつ安心して業務に専念できる職場環境づくりができた。

a 人事管理

令和7年度は、所長以下17人の職員で2課をもって当所の組織を構成し、職員の能力が最大限に発揮できるよう、常に職員の適正な配置に留意しつつ事業を円滑に行った。

b 健康管理

と畜検査及び食鳥検査は特殊な作業環境下にあることから、一般の定期健康診断に加えて、特別健康診断や特定業務従事者健康診断を受診させ、疾病の早期発見と予防に努めた。

また、所内連絡会など機会あるごとに公務災害の発生防止について注意喚起に努め、職場内の良好な人間関係やワーク・ライフ・バランスの醸成に配慮し、職員の心身の健康増進に寄与した。

c 交通安全対策

検査業務に公用車の使用は欠かせないことから、日頃から安全運転管理者を中心に、職員への呼び掛けや啓発資料等の情報の共有化により交通事故の発生を抑えた。

d 防災対策

地震等の大規模災害に備えた業務継続体制の見直しを行うと共に、危機管理部及び健康福祉部が企画する防災訓練等に積極的に参加することで職員間の防災意識向上に繋げた。

e 関係機関との連絡調整

と畜事業者、食鳥処理事業者及び関係団体との連絡を密にし、相互協力の下、施設の整備や運営等について助言を行った。

さらに、事業の円滑な推進に資するため、保健所、環境衛生科学研究所、家畜保健衛生所、獣医師会等との連携を行った。

f 予算・財産管理

会計・経理及び物品等の取扱いについては、迅速かつ正確に処理し、効果的な予算の執行を行った。また、県有財産を適正に管理した。

＜収入状況＞

収 入	令 和 6 年 度	令 和 7 年 度
証紙収入（検査手数料）	81,722,832 円	79,265,196 円
証 紙 収 入 （ 文 書 料 ）	188,800	180,000
証 紙 収 入 （ 許 認 可 料 ）	10,000	22,000
諸収入（保険料負担金）	1,555,654	1,718,947
計	83,389,080	81,186,143

＜支出状況＞

支 出	令 和 6 年 度	令 和 7 年 度
一 般 会 計	33,247,963 円	37,124,763 円

（イ）評価（課題等）及び改善

毎月開催している定例の所内連絡会に加え、各課・班間の定期的な打ち合わせをすることで、業務に関する共通認識を持ち、必要な協力体制を構築するなど、事業の計画的かつ効率的な運営を行う。

また、社会規範や服務規律の遵守について、機会あるごとに周知徹底を図る。

イ 広報・消費者啓発

（ア）目的、計画及び実績（成果）

ホームページを随時更新し、安全・安心な食肉・食鳥肉を提供するための検査や食肉安全情報について情報発信を行った。

また、県民の日事業として、「お肉の教室」を開催し、高校生に対して食肉の安全確保に関する知識の普及・啓発に努めた。内容は、と畜検査の概要説明、豚の内臓観察、意見交換（タウンミーティング）であった。

（イ）評価（課題等）及び改善

「お肉の教室」の開催は、一般に馴染みのない食肉の生産や当所の検査業務を認知させる機会となった。食の安全や将来の職業選択について考えることにもつながる内容で、参加者の好評を得ている。また、ホームページの公開及び「お肉の教室」の開催により、消費者に対し食肉についての正しい知識と理解を深めることに寄与している。

ウ 職員の資質向上

(ア) 目的、計画及び実績（成果）

多様化する獣畜の疾病の診断、食肉の試験検査技術及びと畜場や食鳥処理場における新たな衛生管理手法に対応するため、各種研修に参加することにより、最新情報の収集と検査手技の習熟が図れた。

職員研修状況

(令和7年度)

月	研 修 の 名 称	人数	会場又は開催形式
5	新任食品衛生監視員研修会	1	静岡市
5	検査等精度管理委員会	1	静岡市
6	HACCP システム研修	3	静岡市、富士市
6～7	食肉衛生検査研修（国立保健医療科学院）	1	埼玉県
7	保健所等区分責任者研修会	1	オンライン研修
9	全国食肉衛生検査所協議会微生物部会研修会	1	新潟県
10	と畜・食鳥検査員試験検査技術研修会	3	藤枝市
10	食品衛生監視員研修会	2	静岡市
10	全国食肉衛生検査所協議会理化学部会研修会	8	静岡市
10	全国食品衛生監視員協議会関東ブロック研修大会	1	千葉県
10	全国食肉衛生検査所協議会東海・北陸ブロック研修会	2	愛知県
11	全国食肉衛生検査所協議会病理部会研修会	1	神奈川県
1	食肉及び食鳥肉衛生技術研修並びに研究発表会	2	東京都
2	静岡県公衆衛生研究会	5	静岡市
2	保健所等検査担当者研修会	1	静岡市
2	と畜・食鳥検査員技術研修会	12	掛川市
2	検査等精度管理委員会食品部会	1	静岡市

(イ) 評価（課題等）及び改善

日々のと畜検査や食鳥検査、精密検査、衛生指導及び食肉衛生検査に活かすため、研修会に職員を積極的に参加させ、その成果を他の職員に伝達する機会を設けることで、さらなる所属全体のスキル向上に繋げる。

(2) 検査課

ア と畜検査事業

(ア) 目的、計画及び実績 (成果)

と畜場 (1 施設) において、生体検査、解体前検査及び解体後検査を適正に実施し、疾病等の異常を認めた場合は、枝肉や内臓等の一部又は全部を廃棄処分とした。

と畜検査頭数

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
牛	5,346	5,401	5,420	4,919	4,666
とく	18	14	42	21	10
馬	0	0	0	0	
豚	134,771	130,125	126,417	127,658	122,023
めん羊	0	0	0	0	
山羊	0	0	0	0	
計	140,135	135,540	131,879	132,598	126,699

(注) とく = 生体重 120kg 未満の牛 (注) 令和 7 年度には試験と畜豚 54 頭分も含む

と畜検査結果に基づく処分状況調

(令和 7 年度)

畜 種		牛	とく	馬	豚	めん羊 山羊
内 容						
と殺・解体禁止頭数		0	0	0	0	0
内 訳	生体検査後死亡	0	0	0	0	0
	豚 丹 毒	0	0	0	0	0
	膿 毒 症	0	0	0	0	0
	熱 性 諸 症	0	0	0	0	0
全 部 廃 棄 頭 数		35	0	0	34	0
内 訳	牛伝染性リンパ腫	12	0	0	0	0
	白 血 病	0	0	0	0	0
	豚 丹 毒	0	0	0	0	0
	膿 毒 症	0	0	0	6	0
	敗 血 症	9	0	0	27	0
	尿 毒 症	4	0	0	0	0
	黄 疸 (高 度)	0	0	0	1	0
	水 腫	10	0	0	0	0
	腫 瘍	0	0	0	0	0
	中 毒	0	0	0	0	0
	炎 症 ・ 変 性	0	0	0	0	0
	抗 生 物 質 含 有	0	0	0	0	0
	サルモネラ症	0	0	0	0	0
	トキソプラズマ病	0	0	0	0	0

(注) 試験と畜豚 54 頭分も含む

と畜検査結果に基づく処分状況調

(令和7年度)

畜 種		牛	とく	馬	豚	めん羊 山 羊
内 容						
一 部 廃 棄 頭 数		3,113	8	0	42,851	0
内 訳	放 線 菌 病	0	0	0	0	0
	寄 生 虫 病	ジストマ病	2	0	0	0
		そ の 他	0	0	0	0
	黄 疸	0	0	0	1	0
	水 腫	185	0	0	127	0
	腫 瘍	0	0	0	0	0
	炎 症	3,903	22	0	61,946	0
	変性・萎縮	569	2	0	1,876	0
	そ の 他	2,350	2	0	3,734	0

(注) 一部廃棄の原因となる疾病が複数あった場合は、それぞれの疾病欄に計上した。

(注) 試験と畜豚 54 頭分も含む

(イ) 評価(課題等)及び改善

獣畜の疾病の原因となる微生物には、ヒトに食中毒や感染症を引き起こす微生物も少なくないため、厳正なと畜検査を実施することにより、それらを排除することで安全・安心な食肉の流通を図る。

イ 食鳥検査事業

(ア) 目的、計画及び実績(成果)

大規模食鳥処理場(2施設)について、生体検査、脱羽後検査及び内臓摘出後検査を適正に実施し、疾病等の異常を認めた場合は、と体や内臓等の一部又は全部を廃棄処分とした。

食鳥検査羽数

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
ブロイラー	5,092,872	4,635,724	4,355,316	4,480,460	4,492,001
成 鶏	2,888,300	2,825,155	2,730,339	2,590,363	2,564,363
あ ひ る	0	0	0	0	0
七 面 鳥	0	0	0	0	0
計	7,981,172	7,460,879	7,085,655	7,070,823	7,056,364

食鳥検査結果に基づく処分状況調

(令和7年度)

種 別 内 容		ブ ロ イ ラ ー			成 鶏		
		と殺解体 禁止羽数	全部廃棄 羽 数	一部廃棄 羽 数	と殺解体 禁止羽数	全部廃棄 羽 数	一部廃棄 羽 数
処 分 実 羽 数		13,990	13,701	156,644	7,387	9,223	200
内 訳	鶏白血病	0	0	0	0	0	0
	マレック病	0	0	0	0	0	0
	大腸菌症	0	2,776	0	0	0	0
	サルモネラ病	0	0	0	0	0	0
	ブドウ球菌症	0	0	0	0	0	0
	膿毒症	0	0	0	0	0	0
	敗血症	0	0	0	0	0	0
	原虫病（TP 除く）	0	0	0	0	0	0
	寄生虫病	0	0	0	0	0	1
	変性	13,276	1,283	0	3	0	0
	水腫	0	0	0	2	1	0
	腹水症	0	5,569	0	0	0	0
	出血	0	212	111,687	73	1	159
	炎症	0	3,326	44,955	1,808	767	18
	萎縮	0	0	0	40	42	0
	腫瘍	0	1	0	2,856	8,372	22
	臓器の異常な形等	0	0	2	0	0	0
	黄疸	0	9	0	1	2	0
	外傷	0	0	0	0	0	0
	削瘦及び発育不良	0	227	0	468	27	0
	放血不良	714	290	0	1,697	11	0
	湯漬過度	0	8	0	439	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0

(注) 一部廃棄の原因となる疾病が複数あった場合は、それぞれの疾病欄に計上した。

(イ) 評価（課題等）及び改善

鶏の疾病の原因となる微生物には、食中毒を引き起こす微生物も少なくないため、厳正な食鳥検査を実施することにより、それらを排除することで安全・安心な食鳥肉の流通を図る。

ウ 牛海綿状脳症（BSE）対策

(ア) 目的、計画及び実績（成果）

平成13年10月から、全頭を対象に牛のスクリーニング検査（エライザ法）を実施してきたが、平成25年から全頭検査が見直され、令和6年4月1日には、月齢に関わらず、行動異常又は神経症状を呈する牛が検査対象となった。

よって、対象の牛についてBSE検査を適切に行える体制を維持するとともに、と畜場においては、特定危険部位（脳、扁桃、脊髓、回腸遠位部等）の除去及び焼却を確認し、本部位に接触した器具類の洗浄消毒の徹底を指導した。

と畜場名	検査頭数	スクリーニング検査 陽性頭数	BSE 陽性頭数
小笠食肉センター	0	0	0
計	0	0	0

（イ）評価（課題等）及び改善

対象牛を適切に見極め、スクリーニング検査が必要かを確実に判断した。

また、と畜処理に当たっては、特定危険部位による枝肉等の汚染がないように、適正な作業及び設備・器具等の洗浄消毒について事業者へ指導するとともに、特定危険部位が適切に除去及び焼却されていることの確認を徹底する。

エ 精密検査事業

（ア）目的、計画及び実績（成果）

微生物学、病理組織学又は理化学の試験室内検査により、疾病の確定診断に必要な精密検査及び残留有害物質（抗菌性物質・農薬等）の収去検査等を実施した。

精密検査頭羽数

（令和7年度）

		微生物		病 理	理化学	血液	有害残 留物質	合 計
		細 菌	ウイルス					
と畜	牛	4	0	8	13	392	0	417
	とく	0	0	0	0	11	0	11
	豚	32	0	0	0	1	1	34
食鳥	ブロイラー	0	41	0	0	0	0	41
	成鶏	0	33	0	0	0	0	33
計		36	74	8	13	404	1	536

（注） とく＝生体重120kg未満の牛

試験区分 区 分	試験した 収去検体数 （実 数）	不良検体数 （実 数）	不 良 理 由 （延 数）			
			抗生物質	合 成 抗菌剤	残留 農薬 基準	その他
牛 肉	6	0	0	0	0	0
豚 肉	60	0	0	0	0	0
食 鳥 肉	24	0	0	0	0	0
計	90	0	0	0	0	0

(イ) 評価（課題等）及び改善

動物由来感染症や全身性疾患等が疑われたものについては、分子生物学的手法による精密検査を行うことにより、精度の高い病性鑑定に繋げる。

また、食肉及び食鳥肉中の動物用医薬品や農薬等の残留検査（収去検査等）を定期的実施し、科学的な判断により食肉の安全確保に寄与している。

なお、収去検査等においては、試験検査の業務管理（GLP）に基づき、検査の信頼性確保と技術の向上を図る。

オ 高病原性鳥インフルエンザ対策

(ア) 目的、計画及び実績（成果）

食鳥処理事業者に対して、出荷前の死亡率の確認を徹底させ搬入防止を図った。平成 16 年からは、大規模食鳥処理場（2 施設）にスクリーニング検査キットを配備し、生体検査において、疑われる所見や死鳥率の増加等、異常が見られた場合は簡易検査を実施した。

高病原性鳥インフルエンザ簡易検査実施数

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
検査羽数	125	90	55	46	37

(イ) 評価（課題等）及び改善

鳥インフルエンザ対応マニュアルに基づき、スクリーニング検査を実施し、家畜保健衛生所と連携して食鳥処理場における防疫対策を行う。

カ 認定小規模食鳥処理場の監視指導

(ア) 目的、計画及び実績（成果）

認定小規模食鳥処理場（6 施設）について、施設設備の衛生管理、衛生的な食鳥処理並びに食鳥の異常疾病の確認と廃棄等が的確に実施されているかを検証するため、立入監視指導を実施した。なお、1 施設については令和 8 年 3 月に食鳥処理を廃止した。

健康福祉部 4 8

食鳥処理場立入検査状況調

(令和 7 年度)

(令和 8 年 3 月 31 日現在)

種 別	食鳥 処理 場数	立入 検査 件数	処 分 件 数					告発件数	
			事業許可 取消命令	禁止 命令	停止 命令	整備改善 命令	その他	無許可 事業	その他
食鳥処理業者 (認定小規模食鳥処理業者除)	2	499	0	0	0	0	0	0	0
認 定 小 規 模 食鳥処理業者	5	11	0	0	0	0	0	0	0
合 計	7	510	0	0	0	0	0	0	0

(イ) 評価（課題等）及び改善

認定小規模食鳥処理場においては、衛生的な施設設備の管理及び適正な食鳥処理を担保する上で、年 2 回のペースで立入検査を実施し、HACCP の考えを取り入れた施設の衛生管理状況等について情報共有を図っている。

キ 衛生指導事業

(ア) 目的、計画及び実績（成果）

と畜場及び大規模食鳥処理場における HACCP に基づく衛生管理の実施状況を直接確認するとともに、微生物試験を含めた外部検証を行い、検証結果を踏まえた施設設備の衛生管理及び衛生的な作業の徹底について指導を行った。

また、と畜場及び大規模食鳥処理場の管理者及び従事者に対する研修会やミーティング等を通じて衛生意識の向上を図った。

a 外部検証実施状況

（令和 7 年度）

対 象 施 設	日常検査 (現場)	定期検査 (現場・記録)	微生物試験					
			一般生菌数			腸内細菌科菌群数		
小笠食肉センター	230	12	牛	60	検体	牛	60	検体
			豚	60	検体	豚	60	検体
米久おいしい鶏株式会社	258	12	鶏	60	検体	鶏	60	検体
静岡県成鶏加工協同組合	241	12	鶏	60	検体	鶏	60	検体
計	729	36	牛	60	検体	牛	60	検体
			豚	60	検体	豚	60	検体
			鶏	120	検体	鶏	120	検体

b 衛生教育実施状況

（令和 7 年度）

対 象 者	回 数	人 員	内 容
と畜場管理者・と畜業者 [小笠事業所研修会]	1	58	・ HACCP 及び衛生管理計画について ・ 実習（入退場、手洗いの方法、作業手順書の内容確認）
と畜場管理者・と畜業者他 [小笠衛生検討会]	12	96	・ 一般衛生管理の検討及び改善指導 ・ 外部検証結果の報告
食鳥処理衛生管理者・従事者	24	60	・ 検証結果を踏まえた衛生管理指導
計	37	214	

(イ) 評価（課題等）及び改善

外部検証結果を踏まえた指導や助言を行うことで、HACCP に基づく衛生管理の適正な運用に繋げる。

また、衛生教育を通じて、と畜場及び大規模食鳥処理場の管理者及び従事者に対し、自主衛生管理の意識付けを図っている。特に、と畜場作業員に対しては、令和 8 年 4 月 1 日の静岡県食肉センターの開場に向け、HACCP 及び衛生管理計画に関する講義や新センターでの入退場手順、作業手順の確認の実習を行った。

ク 枝肉輸送車の衛生検査

(ア) 目的、計画及び実績（成果）

安全・安心な食肉を消費者に供給する上で、生産から販売までの流通時の衛生確保も重要な課題であった。このため、と畜場に入出場する枝肉輸送車に対し、荷室構造や温度管理及び衛生的な枝肉の取扱いについて、細菌汚染状況検査（拭き取り検査）を取り入れた臨検指導を実施した。

枝肉輸送車の検査実施状況

(令和7年度)

対 象 業者数	枝肉輸送車台数			拭き取り検査数			構造補修 指導件数
	計	内 訳		一般生菌数	腸内細菌 科菌群数	ATP	
		冷蔵車	保冷車				
12	27	26	1	27	27	27	2

(イ) 評価（課題等）及び改善

枝肉輸送車の衛生検査の結果、荷室内部の壁の破損や洗浄不足等が確認された事業者に対し、枝肉取扱時に使用する手袋及び荷室内部の洗浄方法、壁の修繕について指導を行った。客観的な指標である細菌汚染状況（拭き取り検査結果）を衛生指導に活用することで、事業者の衛生意識の向上につなげている。

ケ 調査研究事業

(ア) 目的、計画及び実績（成果）

食肉や食鳥肉を原因とする食中毒等の危害防止や罹患畜の排除のため、と畜場及び食鳥処理場における微生物制御や疾病診断等に関する調査研究を行い、その成果を事業者への衛生指導に活用するとともに、研修会や学会での発表等により広く情報発信を行った。

また、国立感染症研究所からの要請を受け、日本脳炎の感染症流行予測調査にも取り組んだ。

調査研究等実施数

(令和7年度)

内 容	検 体 数
微生物学的検査に関すること。	48
病理学的検査に関すること。	1
感染症流行予測調査（日本脳炎）	80
合 計	129

学 会 発 表 等

(令和7年度)

研 究 課 題	開 催 月	学 会 等 の 名 称
と畜場の環境モニタリングとその活用について	7 年 8 月	中部地区獣医師大会 獣医学術中部地区学会
残留抗生物質の簡易検査法における試験菌の効率的な培養法の検討について	7 年 10 月	全国食肉衛生検査所協議会東海・北陸ブロック研修会 【選出演題】
食肉処理施設の衛生状態の調査について	8 年 2 月	第 62 回静岡県公衆衛生研究会
生体検査時に採血した血液像の牛伝染性リンパ腫の診断についての有用性	8 年 2 月	第 62 回静岡県公衆衛生研究会

残留抗生物質の簡易検査法における試験菌の効率的な培養法の検討（第2報）	8年 2月	第62回静岡県公衆衛生研究会
-------------------------------------	-------	----------------

（イ）評価（課題等）及び改善

県公衆衛生研究会において調査研究の成果を毎年3～5題発表し、ここ6年は1題ずつ優秀賞を受賞している。さらに県外の研修会や国が主催する発表会に参加し、総じて調査研究の内容とプレゼンが高い評価を得ている。なお、調査研究の成果は、事業者への衛生指導や日常の精密検査業務において有益なものとなっている。

コ 食肉検査情報提供事業

（ア）目的、計画及び実績（成果）

と畜検査での廃棄等による経済的損失を軽減し、より健康な家畜の生産を促すため、検査によって得られた疾病等に関する情報を生産者や家畜保健衛生所等の関係機関にフィードバックをした。

疾病等のと畜検査データについて、と畜場管理者（と畜検査申請者）には随時、家畜保健衛生所には適宜フィードバック情報として提供した。

（イ）評価（課題等）及び改善

と畜検査データのフィードバックを適切に行うことにより、家畜生産の改善に向けた指導につなげている。

と畜及び食鳥検査実施状況調

(令和7年度)
(令和8年3月31日現在)

種 別 \ 項 目		検 査 頭 羽 数	う ち 処 分 頭 羽 数		
			と殺解体禁止	全 部 廃 棄	一 部 廃 棄
と畜	牛	4,666	0	35	3,113
	とく*	10	0	0	8
	馬	0	0	0	0
	豚	122,023	0	34	42,851
	めん羊	0	0	0	0
	山 羊	0	0	0	0
	小 計	126,699	0	69	45,972
食鳥	ブロイラー	4,492,001	13,990	13,701	156,644
	成 鶏	2,564,363	7,387	9,223	200
	あひる	0	0	0	0
	七面鳥	0	0	0	0
	小 計	7,056,364	21,377	22,924	156,844
計		7,183,063	21,377	22,993	202,816

* 「とく」とは、120kg未満の牛をいう。

□□□□

職 員 の 年 齢 調

(令和8年4月1日現在)

年 齢	人 員	摘 要
20歳未満	0 人	
20歳以上 30歳未満	2 人	
30歳以上 40歳未満	2 人	
40歳以上 50歳未満	3 人	
50歳以上 56歳未満	3 人	
56歳以上 61歳未満	4 人	
61歳以上	3 人	再任用職員 3人
計	17 人	平均年齢 49.1 歳

□□□□

健康管理

1 前年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 17人 職員数 17人
受 診 率	100%
県平均受診率	100%

2 本年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		1 人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療	人
B 2		要経過観察	人
C 1	勤務をほぼ平常に行ってよいが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療	1 人
C 2		要経過観察	人
D 1	平常の勤務でよい。	要 治 療	7 人
D 2		要経過観察	4 人
D 3		医 療 不 要	4 人
区 分 者 計			1 7 人
未区分者数			人
合 計			1 7 人

(1) 管理区分 A～C 2 該当者に対する措置状況

- ・ A 該当職員は休職中
- ・ C 1 該当職員については、時間外勤務、特例勤務(食鳥検査)及び長期又は遠方への出張を制限している。

(2) 未区分の理由

ア 産休・育休	人
イ 新規採用	人
ウ 自己都合による未受診	人
エ その他	人
()	人

□□□□

職 員 配 置 調

(令和8年4月1日現在)

区 分		管理指導課 (管理指導班)	検 査 課 (衛生監視班)	検 査 課 (検 査 班)	計
所 在 地					
担当区域					
配 置 職 員	職 員 (事)				
	職 員 (技)	3	5	5	13
	再任用職員(事)	1			1
	再任用職員(技)			2	2
	会計年度任用職員			6	6
計		4	5	7 (6)	16 (6)

□□□□

歳 入 予 算 執 行 状 況 調

(令和6年度)

(一般会計)

(令和7年5月31日現在)

（仮会計）		（令和7年5月31日現在）								
区分	調定額	収入済額		不 納 欠損額	収入未済額			収 入 歩 合 A→D→F	納期内 収入率 A→D→F	摘 要
		納期内	納期後		納期限 経 過	納期限 未到来	計			
	A	B	C	D	E	F		B+C A→D→F	B A→D→F	
14 諸収入	1,555,654	1,555,654	0	0	0	0	0	100.0	100.0	
07 雑入	1,555,654	1,555,654	0	0	0	0	0	100.0	100.0	
02 雑入	1,555,654	1,555,654	0	0	0	0	0	100.0	100.0	
87 保険料負担金	1,555,654	1,555,654	0	0	0	0	0	100.0	100.0	
 非常勤職員	1,555,654	1,555,654	0	0	0	0	0	100.0	100.0	
90 雑収	0	0	0	0	0	0	0			
計	1,555,654	1,555,654	0	0	0	0	0	100.0	100.0	

□□□□

歳 入 予 算 執 行 状 況 調

(令和7年度)

(一般会計)

(令和8年3月31日現在)

(一) 一般会計		(令和8年3月31日現在)									
区分	調定額	収入済額		不 納 欠損額	収入未済額			収 入 歩 合 計	納 入 率 B+C A-D-F	納 期 内 収 入 率 B A-D-F	摘 要
		納 期 内	納 期 後		納 期 限 経 過	納 期 限 未 到 来					
A	B	C	D	E	F	A-D-F	A-D-F				
14 諸収入	円 1,718,947	円 1,718,947	円 0	円 0	円 0	円 0	円 0	% 100.0	% 100.0		
07 雑入	1,718,947	1,718,947	0	0	0	0	0	100.0	100.0		
02 雑入	1,718,947	1,718,947	0	0	0	0	0	100.0	100.0		
90 保険料負担金	1,718,947	1,718,947	0	0	0	0	0	100.0	100.0		
非常勤職員	1,718,947	1,718,947	0	0	0	0	0	100.0	100.0		
計	1,718,947	1,718,947	0	0	0	0	0	100.0	100.0		

□□□□

県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調

区 分	令和6年度	令和7年度
	件 数	件 数
と畜検査申請手数料（牛）	4,919	4,666
（とく）	21	10
（馬）	0	0
（豚）	127,658	122,023
（めん羊）	0	0
（山羊）	0	0
文書料	236	225
食鳥処理場構造設備変更許可	1	0
食鳥処理事業許可	0	0
確認規程認定	0	0
確認規程変更	0	0
食鳥検査申請手数料	7,070,823	7,056,364

□□□□

預 金 調

（令和8年3月31日現在）

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高 円	摘 要
静岡銀行掛川支店	無利息型 普通預金	0927222	食肉衛生検査所 資金前渡者 所長 太田智恵子	0	手数料、講習 会負担金等支 払
静岡銀行掛川支店	無利息型 普通預金	0927233	（自振口）食肉衛生検査所 資金前渡者 所長 太田智恵子	0	電話料、電気 料等振込
残高合計				0	

□□□□

郵 券 等 受 払 調

(令和8年3月31日現在)
(単位：枚、円)

区 分	種 類	令和6年度						令和7年度								摘 要
		繰 越		受 入		払 出		繰 越		受 入		払 出		差引現在高		
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	
郵 券	10円券	111	1,110	140	1,400	94	940	157	1,570	100	1,000	151	1,510	106	1,060	関係機関への連絡調整
	26円券	0	0	100	2,600	27	702	73	1,898	0	0	69	1,794	4	104	
	84円券	131	11,004	0	0	62	5,208	69	5,796	0	0	69	5,796	0	0	
	110円券	0	0	0	0	0	0	0	0	60	6,600	18	1,980	42	4,620	
	120円券	73	8,760	0	0	39	4,680	34	4,080	0	0	34	4,080	0	0	
	140円券	0	0	50	7,000	24	3,360	26	3,640	60	8,400	71	9,940	15	2,100	
計			20,874		11,000		14,890		16,984		16,000		25,100		7,884	
収入印紙		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計			0		0		0		0		0		0		0	
納税証紙	500円券	0	0	1	500	1	500	0	0	1	500	1	500	0	0	安全運転管理者等講習会受講料
	600円券	0	0	0	0	0	0	0	0	1	600	1	600	0	0	
	4000円券	0	0	1	4,000	1	4,000	0	0	1	4,000	1	4,000	0	0	
計			0		4,500		4,500		0		5,100		5,100		0	
有料道路回数券等		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計			0		0		0		0		0		0		0	
タクシーチケット		0		0		0		0		0		0		0		
計		0		0		0		0		0		0		0		

□□□□

歳出予算執行状況調

(令和 6年度)
(令和 7年 5月31日現在)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
款 04 経営管理費	円 1,268,614	円 1,268,614	円 0	
項 01 経営管理費	1,268,614	1,268,614	0	
目 01 一般総務費	159,227	159,227	0	
04 共済費	159,227	159,227	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	159,227	159,227	0	
目 03 行政経営費	521,580	521,580	0	
08 旅費	521,580	521,580	0	
02 普通旅費	521,580	521,580	0	
目 04 職員厚生費	587,807	587,807	0	
10 需用費	587,807	587,807	0	
01 その他の需用費	587,807	587,807	0	
款 07 健康福祉費	32,438,555	31,979,349	459,206	
項 01 健康福祉費	1,881,721	1,422,515	459,206	
目 01 健康福祉総務費	1,324,161	975,462	348,699	
01 報酬	489,551	489,551	0	
03 非常勤職員報酬	489,551	489,551	0	
03 職員手当等	507,000	391,538	115,462	
01 その他の職員手当等	507,000	391,538	115,462	
04 共済費	327,610	94,373	233,237	
01 地方公務員共済組合に対する負担金	79,610	20,669	58,941	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	248,000	73,704	174,296	
目 02 健康福祉企画費	557,560	447,053	110,507	
08 旅費	188,360	187,673	687	
02 普通旅費	188,360	187,673	687	
10 需用費	354,200	244,860	109,340	
01 その他の需用費	354,200	244,860	109,340	
11 役務費	15,000	14,520	480	
項 05 医療費	149,600	149,600	0	

健康福祉部 食肉検査所

ZIB0030
ZIRB0030

□□□□

一般会計 (令和 6年度)
(令和 7年 5月31日現在)

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
目 02 感染症対策費	円 149,600	円 149,600	円 0	
10 需用費	149,600	149,600	0	
01 その他の需用費	149,600	149,600	0	
項 07 生活衛生費	30,407,234	30,407,234	0	
目 01 食品衛生費	29,088,374	29,088,374	0	
01 報酬	10,802,314	10,802,314	0	
03 非常勤職員報酬	10,802,314	10,802,314	0	
03 職員手当等	4,230,164	4,230,164	0	
01 その他の職員手当等	4,230,164	4,230,164	0	
04 共済費	3,978,608	3,978,608	0	
01 地方公務員共済組合に 対する負担金	797,719	797,719	0	
02 報酬、給料及び賃金に 係る社会保険料	3,180,889	3,180,889	0	
07 報償費	0	0	0	
01 その他の報償費	0	0	0	
08 旅費	1,448,759	1,448,759	0	
01 その他の旅費	579,559	579,559	0	
02 普通旅費	869,200	869,200	0	
10 需用費	5,279,728	5,279,728	0	
01 その他の需用費	5,279,728	5,279,728	0	
11 役務費	907,949	907,949	0	
12 委託料	907,940	907,940	0	
13 使用料及び賃借料	117,962	117,962	0	
17 備品購入費	1,250,700	1,250,700	0	
18 負担金、補助及び交付 金	131,250	131,250	0	
26 公課費	33,000	33,000	0	
目 02 薬務費	1,318,860	1,318,860	0	
08 旅費	400	400	0	
02 普通旅費	400	400	0	

健康福祉部 食肉検査所

ZIB0030
ZIRB0030

□□□□

一般会計 (令和 6年度)
(令和 7年 5月31日現在)

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
10 需用費	円 15,950	円 15,950	円 0	
01 その他の需用費	15,950	15,950	0	
11 役務費	0	0	0	
12 委託料	1,302,510	1,302,510	0	
計	33,707,169	33,247,963	459,206	

□□□□

歳出予算執行状況調

(令和 7年度)
(令和 8年 3月31日現在)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
款 03 総務費	7,466,029	7,130,914	335,115	
項 01 総務費	7,466,029	7,130,914	335,115	
目 01 一般総務費	7,214,767	6,879,652	335,115	
01 報酬	3,949,000	3,689,356	259,644	
03 非常勤職員報酬	3,949,000	3,689,356	259,644	
03 職員手当等	1,189,533	1,189,533	0	
01 その他の職員手当等	1,189,533	1,189,533	0	
04 共済費	1,606,234	1,539,194	67,040	
01 地方公務員共済組合に 対する負担金	304,000	297,908	6,092	
02 報酬、給料及び賃金に 係る社会保険料	1,302,234	1,241,286	60,948	
08 旅費	470,000	461,569	8,431	
01 その他の旅費	470,000	461,569	8,431	
目 06 職員厚生費	251,262	251,262	0	
10 需用費	251,262	251,262	0	
01 その他の需用費	251,262	251,262	0	
款 08 健康福祉費	34,762,321	29,993,849	4,768,472	
項 01 健康福祉費	991,199	793,777	197,422	
目 01 健康福祉総務費	859,139	673,557	185,582	
01 報酬	494,000	321,188	172,812	
03 非常勤職員報酬	494,000	321,188	172,812	
03 職員手当等	251,000	250,217	783	
01 その他の職員手当等	251,000	250,217	783	
04 共済費	114,139	102,152	11,987	
01 地方公務員共済組合に 対する負担金	66,139	64,087	2,052	
02 報酬、給料及び賃金に 係る社会保険料	48,000	38,065	9,935	
目 02 健康福祉企画費	132,060	120,220	11,840	
08 旅費	117,060	108,120	8,940	
02 普通旅費	117,060	108,120	8,940	

健康福祉部 食肉検査所

ZIB0030
ZIRB0030

□□□□

一般会計		(令和 7年度) (令和 8年 3月31日現在)			
区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要	
11 役務費	円 15,000	円 12,100	円 2,900		
13 使用料及び賃借料	0	0	0		
項 05 医療費	180,000	179,289	711		
目 02 感染症対策費	180,000	179,289	711		
10 需用費	180,000	179,289	711		
01 その他の需用費	180,000	179,289	711		
項 07 生活衛生費	33,591,122	29,020,783	4,570,339		
目 01 食品衛生費	32,372,322	27,809,470	4,562,852		
01 報酬	11,682,000	10,379,656	1,302,344		
03 非常勤職員報酬	11,682,000	10,379,656	1,302,344		
03 職員手当等	4,625,000	4,621,318	3,682		
01 その他の職員手当等	4,625,000	4,621,318	3,682		
04 共済費	4,172,452	3,303,645	868,807		
01 地方公務員共済組合に 対する負担金	826,072	797,935	28,137		
02 報酬、給料及び賃金に 係る社会保険料	3,346,380	2,505,710	840,670		
07 報償費	16,000	0	16,000		
01 その他の報償費	16,000	0	16,000		
08 旅費	1,544,000	1,250,669	293,331		
01 その他の旅費	717,000	527,997	189,003		
02 普通旅費	827,000	722,672	104,328		
10 需用費	4,573,470	4,417,332	156,138		
01 その他の需用費	4,573,470	4,417,332	156,138		
11 役務費	963,000	837,029	125,971		
12 委託料	1,046,000	561,550	484,450		
13 使用料及び賃借料	454,000	308,061	145,939		
17 備品購入費	3,114,400	1,970,760	1,143,640		
18 負担金、補助及び交付 金	137,000	136,250	750		
26 公課費	45,000	23,200	21,800		

健康福祉部 食肉検査所

ZIB0030
ZIRB0030

□□□□

一般会計		(令和 7年度) (令和 8年 3月31日現在)			
区	分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
目	02 業務費	円 1,218,800	円 1,211,313	円 7,487	
	08 旅費	7,000	2,120	4,880	
	02 普通旅費	7,000	2,120	4,880	
	10 需用費	15,000	12,793	2,207	
	01 その他の需用費	15,000	12,793	2,207	
	11 役務費	22,000	21,600	400	
	12 委託料	1,174,800	1,174,800	0	
	計	42,228,350	37,124,763	5,103,587	

□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節 名	会計	款	項	目	執 行 済 額 (円)		
					令和5年度	令和6年度	うち、令和5年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般	健康福祉費	生活衛生費	食品衛生費	877,470	907,940	
	一般	健康福祉費	生活衛生費	薬務費	1,122,000	1,302,510	
計					1,999,470	2,210,450	0
(14) 工事請負費							
計					0	0	0
(16) 公有財産 購入費							
計					0	0	0
(17) 備品購入費	一般	健康福祉費	生活衛生費	食品衛生費	900,350	1,250,700	
計					900,350	1,250,700	0
(18) 負担金、 補助及び 交付金	一般	健康福祉費	生活衛生費	食品衛生費	94,350	131,250	
計					94,350	131,250	0
(21) 補償、補填 及び賠償金							
計					0	0	0

□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和7年度)

(令和8年3月31日現在)

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)	
						うち、令和5年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般	健康福祉費	生活衛生費	食品衛生費	561,550	
	一般	健康福祉費	生活衛生費	薬務費	1,174,800	
計					1,736,350	0
(14) 工事請負費						
計					0	0
(16) 公有財産 購入費						
計					0	0
(17) 備品購入費	一般	健康福祉費	生活衛生費	食品衛生費	1,970,760	
計					1,970,760	0
(18) 負担金、 補助及び 交付金	一般	健康福祉費	生活衛生費	食品衛生費	136,250	
計					136,250	0
(21) 補償、補填 及び賠償金						
計					0	0

□□□□

委 託 料 に

整理 番号	委 託 業 務 名	受 託 者	当初設計 金額 (円)	契 約 金 額 (円)		
				当初額	変更増減額	計
1	(事務関係) 産業廃棄物収集運搬業務委託 (感染性廃棄物)	(株)コーシンサービス	38,500	38,500	0	38,500
2	産業廃棄物処分業務委託 (感染性廃棄物)	角松商事(有)	21,340	21,340	0	21,340
3	産業廃棄物収集運搬・処分業務 委託(混合廃棄物)	(株)アドバンス中部 サービス	68,200	68,200	0	68,200
4	産業廃棄物収集運搬業務委託 (特定有害廃酸ほか)	(株)コーシンサービス	33,000	33,000	0	33,000
5	産業廃棄物処分業務委託 (特定有害廃酸ほか)	(株)太洋サービス	27,500	27,500	0	27,500
6	空調設備保守点検業務委託	(株)静岡日立	671,000	627,000	0	627,000
7	iMarkマイクロプレートリーダー 定期点検業務委託	伊勢久(株) 掛川営業所	92,400	92,400	0	92,400
8	超高速液体クロマトグラフ定期 点検業務委託	協立電機(株)	1,122,000	1,122,000	180,510	1,302,510
	計	8 件	2,073,940	2,029,940	180,510	2,210,450

関 する 調

(令和6年度)
(令和7年5月31日現在)

契約締結方法	契約期間	支出年月日	金 額 (円)	委託業務の内容	摘 要
随契	7.1.6 ~ 7.3.31	7.3.25	38,500	産業廃棄物収集運搬 (感染性廃棄物)	随契1号 (少額)
随契	7.1.6 ~ 7.3.31	7.3.5	21,340	産業廃棄物処分 (感染性廃棄物)	随契1号 (少額)
随契	7.2.12 ~ 7.3.31	7.3.25	68,200	産業廃棄物収集運搬・処分 (混合廃棄物)	随契1号 (少額)
随契	7.1.29 ~ 7.3.31	7.4.16	33,000	産業廃棄物収集運搬 (特定有害廃酸ほか)	随契1号 (少額)
随契	7.1.29 ~ 7.3.31	7.3.31	27,500	産業廃棄物処分 (特定有害廃酸ほか)	随契1号 (少額)
随契	6.4.1 ~ 7.3.31	6.7.16	207,900	空調設備保守点検	随契1号 (少額)
		6.10.22	105,600		
		6.12.24	207,900		
		7.4.4	105,600		
		小計	627,000		
随契	7.1.15 ~ 7.3.19	7.3.26	92,400	iMarkマイクロプレートリーダー定期点検	随契1号 (少額)
随契	6.7.1 ~ 7.3.19	7.1.31	1,302,510	超高速液体クロマトグラフ定期点検	随契2号 (不適)
			2,210,450		

□□□□

委 託 料 に

整理 番号	委 託 業 務 名	受 託 者	当初設計 金額 (円)	契 約 金 額 (円)		
				当初額	変更増減額	計
1	(事務関係) 産業廃棄物収集運搬業務委託 (感染性廃棄物)	(株)コーシンサービス	44,000	44,000	0	44,000
2	産業廃棄物処分業務委託 (感染性廃棄物)	角松商事(有)	17,600	17,600	0	17,600
3	産業廃棄物収集運搬・処分業務 委託(混合廃棄物)	(株)アドバンス中部 サービス	55,000	55,000	0	55,000
4	産業廃棄物収集運搬業務委託 (特定有害廃酸・引火性廃油)	(株)コーシンサービス	38,500	38,500	0	38,500
5	産業廃棄物処分業務委託 (特定有害廃酸・引火性廃油)	(株)太洋サービス	27,500	27,500	0	27,500
6	空調設備保守点検業務委託	(株)静岡日立	484,000	484,000	0	484,000
7	超高速液体クロマトグラフ定期 点検業務委託	協立電機(株)	1,174,800	1,174,800	0	1,174,800
	計	7 件	1,841,400	1,841,400	0	1,841,400

関 する 調

(令和7年度)
(令和8年3月31日現在)

契約締結方法	契約期間	支出年月日	金 額 (円)	委託業務の内容	摘 要
随契	7.12.22 ～ 8.3.31	8.2.25	44,000	産業廃棄物収集運搬 (感染性廃棄物)	随契1号 (少額)
随契	7.12.22 ～ 8.3.31	8.2.25	17,600	産業廃棄物処分 (感染性廃棄物)	随契1号 (少額)
随契	8.1.26 ～ 8.3.31	8.3.25	55,000	産業廃棄物収集運搬・処分 (混合廃棄物)	随契1号 (少額)
随契	8.1.19 ～ 8.3.31	8.2.25	38,500	産業廃棄物収集運搬 (特定有害廃酸・引火性廃油)	随契1号 (少額)
随契	8.1.19 ～ 8.3.31	8.3.3	27,500	産業廃棄物処分 (特定有害廃酸・引火性廃油)	随契1号 (少額)
随契	7.4.1 ～ 8.3.31	7.9.5	136,950	空調設備保守点検	随契1号 (少額)
		7.10.16	105,050		
		7.12.25	136,950		
		小計	378,950		
随契	7.7.17 ～ 8.3.19	8.1.30	1,174,800	超高速液体クロマトグラフ定期点検	随契2号 (不適)
			1,736,350		

□□□□

負 担 金 支 出 調

(令和6年度)

(令和7年5月31日現在)

整理 番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	特別管理産業廃棄物 管理責任者講習会受 講料	(公財) 日本産業 廃棄物処理振興セ ンター	廃棄物処理法 施行規則	特別管理産業廃棄物 管理責任者に関する 講習会	円 13,750	R6. 7. 3
2	全国食肉衛生検査所 協議会東海・北陸ブ ロック会費	全国食肉衛生検査 所協議会東海・北 陸ブロック	会則	食肉衛生検査に関す る研修	5,000	R6. 6. 28
3	甲種防火管理新規講 習受講料	(一財) 日本防 火・防災協会	消防法施行令	甲種防火管理者とな るための資格取得講 習	8,000	R6. 7. 4
4	掛川地区安全運転管 理協会費	掛川地区安全運転 管理協会	定款	交通安全運転の推進	25,000	R6. 7. 29
5	安全運転管理者講習 会受講料	静岡県公安委員会	道路交通法	安全運転管理者講習 会	4,500	R6. 9. 17
6	全国食肉衛生検査所 協議会費	全国食肉衛生検査 所協議会	会則	食肉衛生検査に関す る研修	47,000	R6. 9. 20
7	会計年度任用職員の人 間ドックに係る負担 金	地共済静岡県支部	労働安全衛生法	会計年度任用職員人 間ドック費用負担金 4名分	28,000	R7. 2. 10
計		7 件			131,250	

□□□□

負 担 金 支 出 調

(令和 7 年度)

(令和 8 年 3 月 31 日現在)

整理 番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	特別管理産業廃棄物 管理責任者講習会受 講料	(公財) 日本産業 廃棄物処理振興セ ンター	廃棄物処理法 施行規則	特別管理産業廃棄物 管理責任者に関する 講習会	円 13,750	R7. 6. 19
2	全国食肉衛生検査所 協議会東海・北陸ブ ロック会費	全国食肉衛生検査 所協議会東海・北 陸ブロック	会則	食肉衛生検査に関す る研修	10,000	R7. 6. 24
3	甲種防火管理新規講 習受講料	(一財) 日本防 火・防災協会	消防法施行令	甲種防火管理者とな るための資格取得講 習	8,000	R7. 6. 23
4	掛川地区安全運転管 理協会費	掛川地区安全運転 管理協会	定款	交通安全運転の推進	25,000	R7. 6. 16
5	安全運転管理者講習 会受講料	静岡県公安委員会	道路交通法	安全運転管理者講習 会	4,500	R7. 9. 29
6	全国食肉衛生検査所 協議会費	全国食肉衛生検査 所協議会	会則	食肉衛生検査に関す る研修	47,000	R7. 10. 15
7	会計年度任用職員の人 間ドックに係る負担 金	地共済静岡県支部	労働安全衛生法	会計年度任用職員人 間ドック費用負担金 4名分	28,000	R8. 3. 16
計		7 件			136,250	

□□□□

公 有 財 産 調

(令和 7 年度)

(令和 8 年 3 月 31 日現在)

区 分	令和 7 年 6 月 31 日現在		増		減		令和 8 年 3 月 31 日現在		摘要
	数量又 は面積	台帳 価格	数量 又は 面積	台帳 価格	数量 又は 面積	台帳 価格	数量又 は面積	台帳 価格	
行政財産		千円 0		千円 0		千円 0		千円 0	
建 物	—	0	—	0	—	0	—	0	
	—		—		—		—		
公有財産に 準ずるもの		442		0		0		442	
電話加入権	7	442	0	0	0	0	7	442	

□□□□

借 地 借 家 等 調

(令和 7 年度)
(令和 8 年 3 月 31 日現在)

整理 番号	区 分	種 別	所在地	地 目		数量又 は面積	借 料		契 約 期 間	所 有 者 又 は契約者 住所氏名	用途
				台 帳	現 況		単 価	年 額			
							円				
				該当なし							
	計										

□□□□

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

(令和 7 年度)
(令和 8 年 3 月 31 日現在)

区 分	事業名又は契約名	内 容	契約額	(契約額の年度別内訳)				
				令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 1 0 年度
長期継続 契 約	電子複写機賃貸借契約	電子複写機の賃貸借契約 (契約日) 令和 6 年 4 月 1 日	円 572,880	円 114,576	円 114,576	円 114,576	円 114,576	円 114,576
長期継続 契 約	スマートフォン賃貸借 及びB u d d y c o m ライセンス契約	スマートフォン賃貸借 及びB u d d y c o m ライセンス契約 (契約日) 令和 7 年10月 7 日	1,461,680	-	221,540	472,560	472,560	295,020

□□□□

1 / 2 頁

備品・図書調

(令和 7年度)

所属 0000104624 健康福祉部 食肉衛生検査所

区 分	令和 7年 3月31日 現在	増		減		令和 8年 3月31日 現在
		数 量	購 入 価 格 (円)	数 量	売 却 価 格 (円)	
01-01 机類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
01-03 いす類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
01-04 収納保管庫類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
01-10 印判類	18	(0) 4	308,000	(0) 8	0	14
01-13 厨房器具類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
02-01 情報処理機器類	7	(1) 1	0	(0) 0	0	8
02-02 情報伝達機器類	11	(0) 0	0	(0) 0	0	11
03-01 撮影機器類	7	(0) 0	0	(0) 0	0	7
03-02 観察・視測用光学機器類	11	(0) 0	0	(0) 0	0	11
03-03 視覚用再生等機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
04-01 診療・診断用機器類	7	(0) 1	620,400	(0) 1	0	7
04-06 獣医用機器類	8	(0) 0	0	(0) 0	0	8
04-07 防疫機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
05-04 分析化学機器類	32	(0) 0	0	(0) 1	0	31
05-05 生物化学機器類	10	(0) 1	712,800	(0) 0	0	11
05-06 環境化学機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
05-08 度量衡測定機器類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
05-99 その他の試験計測機器類	32	(0) 2	329,560	(0) 1	0	33
06-04 電気電子機器類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3

ZMB0040
ZMR0040

□□□□

2 / 2 頁

備 品 ・ 図 書 調

(令和 7年度)

所属 0000104624 健康福祉部 食肉衛生検査所

区 分	令和 7年 3月31日 現在	増		減		令和 8年 3月31日 現在
		数 量	購 入 価 格 (円)	数 量	売 却 価 格 (円)	
06-06 炉・ボイラー加熱装置類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
07-03 畜産用機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
08-01 車両類	7	(3) 3	0	(3) 3	0	7
50-01 図書	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
計	183	(4) 12	1,970,760	(3) 14	0	181

ZMB0040
ZMRB0040

□□□□

主 要 備 品 調

(令和8年3月31日現在)

整理 番号	区 分		品 名 ・ 規 格	利用状況	購入年月	購入金額
	大・中	小				
1	5-4	クロマトグラフ	Agilent1260 Infinity	理化学検査 週1～2日使用	H27.2	7,668,000
2	5-4	クロマトグラフ	高速液体クロマトグ ラフ	理化学検査 週1～2日使用	H13.2	6,478,500
3	5-99	試験実験機器	密閉式 自動固定包埋装置	病理検査 月1～2日使用	H28.10	2,859,840
4	5-5	血液化学機器	富士ドライケム	理化学検査 週3～4日使用	H17.3	2,625,000
5	2-2	携帯用送受信機	無線主装置及び携帯 用無線機6台	と畜検査 週5日使用	H14.3	2,500,050
6	4-6	診断（診療）用 器具	コールドトーム	病理検査 月1～2日使用	H3.11	2,307,200
7	3-1	顕微鏡用撮影装 置	顕微鏡ビデオセット	病理検査 常時	H4.2	2,156,820
8	5-4	遠心分離装置	小型高速冷却遠心 機・ローター他	理化学検査 週2～3日使用	H8.3	1,835,048
9	4-7	その他の防疫機 器	安全キャビネット	BSE検査 月2～3日使用	H13.10	1,726,200
10	3-2	顕微鏡	蛍光顕微鏡	微生物検査 週1～2日使用	H6.2	1,676,840
11	3-2	顕微鏡	蛍光顕微鏡	小笠 週1～2日使用	H18.3	1,627,500
12	5-99	試験実験機器	パラフィンブロック 作製装置	病理検査 週1～2日使用	H17.1	1,564,500

整理 番号	区 分		品 名 ・ 規 格	利用状況	購入年月	購入金額
	大・中	小				
13	2-2	送受信機	グループ通話用無線 主装置及び周辺機器	と畜検査 週 5 日使用	H21. 10	1, 260, 000
14	5-5	血液化学機器	小型微量遠心機	小笠 週 4～5 日使用	R6. 10	1, 111, 000
15	5-5	血液化学機器	血球計数器	小笠 週 4～5 日使用	R3. 6	1, 078, 000
16	3-2	顕微鏡	顕微鏡ニコン 50 i デジタル	病理検査 週 3～4 日使用	H18. 3	966, 000
17	5-5	その他の生物化学機器	P C R 9 7 0 0 - 6 0 , 0. 5ml	微生物検査 週 2～3 日使用	H13. 1	927, 675
18	5-4	遠心分離装置	多本架冷却 炎新規 (医療用)	理化学検査 月 1～2 日使用	H23. 3	924, 000
19	5-4	培養機器	培養機器 CO2 培養器	微生物検査 週 3～4 日使用	H18. 3	902, 160
20	5-4	無菌箱	無菌箱 VSF-1300A	微生物検査 週 1～2 日使用	H6. 10	854, 900